

ご挨拶

東京都立水元小合学園校長の米谷一雄(よねや かずお)と申します。本校3年目になりました。ホームページをご覧いただき、誠にありがとうございます。

本校は、平成27年度に就業技術科が開校し、今年度で10年目を迎えます。平成29年度からは肢体不自由教育部門が開設し、令和4年度から葛飾区全域が学区域となりました。地域や関係機関の方々から多大なるご支援をいただき、7年間で約550名の卒業生を送り出すことができました。ありがとうございました。

令和に入り、先行き不透明で予測困難と言われる時代の中で、一人一人の児童・生徒が、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多用な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育成することが求められています。本校は、令和4年度より、「ひとりひとりの歩みを支える」学校を目指し、全教職員が一丸となって、在籍する児童・生徒の指導、支援に全力で取り組み、自立と社会参加に向けた教育実践を積み重ねています。

令和5年の5月に新型コロナウイルス感染症は5類へと移行しましたが、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症の発生状況は変わらず増減を繰り返しています。災害対策や防災教育を推進しながら、安全・安心な学校経営を行い、児童・生徒・保護者、地域からの信頼を継続していくことが重要であります。教育活動も令和4年度から段階的な実施によって、令和6年度は、ほぼ、コロナ禍前の状態に戻ります。昨年度完成したグラウンドや施設設備を有効に活用し、計画的に教育活動を実施し、児童・生徒の資質・能力の育成に全力を尽くしていきます。

今年度から、学習指導要領が全面実施となり、社会に開かれた教育課程やカリキュラム・マネジメントの推進による個別最適な学びと協働的な学びの充実は、より、重要性を増していきます。また、一人1台端末も全学年で所有となることから、ICTの活用も一層、充実を図る必要があります。本校は、昨年度から2年間をかけ、「ICT機器を活用した授業実践 ～児童・生徒が主体的に学ぶ、一人1台端末やAT(支援技術)などの有効活用～」をテーマに研究活動を実施し、今年度は公開研究会を2月に実施します。

令和6年度も、学校経営方針としては、引き続き「しんか」を掲げ、日々前進の校訓を教職員自ら実行し、開校10年目の区切りとして、これまでの10年の蓄積を整理し、今後の10年の礎を築く1年として、教育活動と組織体制の充実を図っていきます。

水元小合学園は、在籍する児童・生徒が、自分の将来に夢と希望をもち、自らが主体的に行動することによって、その夢を実現できるように支えていくと同時に、本校が素晴らしい出会いの場であり、その出会いによって、情緒豊かで愛される人に成長できる学校でありたいと思っています。今年度一年、水元小合学園発展のために、全力をつくします。



東京都立水元小合学園